CASBEE®-建築(新築) ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 ｜使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

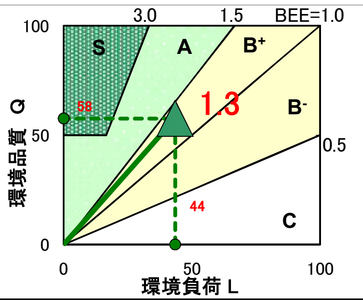
建物名称	(仮称)芦屋市朝日ヶ丘町集合住宅計	階数	地上5F
建設地	兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町384番1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第2種	平均居住人員	242 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年9月3日
敷地面積	2,177 ㎡	作成者	株式会社IAOプランニング&デザイン 黒
建築面積	1,220 ㎡	確認日	2020年9月3日
延床面積	5,423 ㎡	確認者	株式会社IAOプランニング&デザイン 黒

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

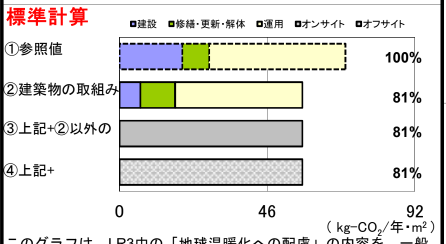
BEE =1.3 ★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



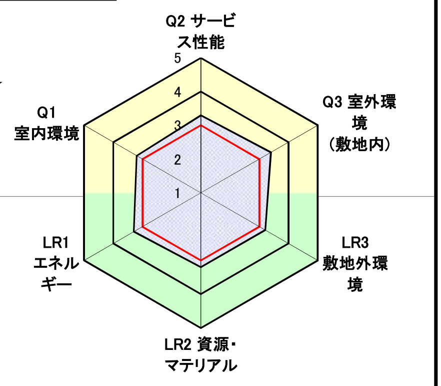
2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

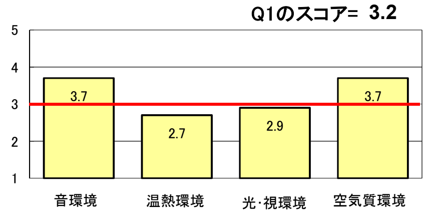
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



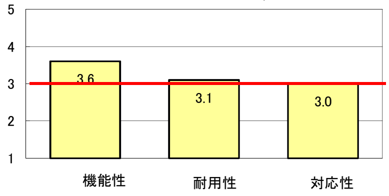
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 *Q のスコア= 3.3*

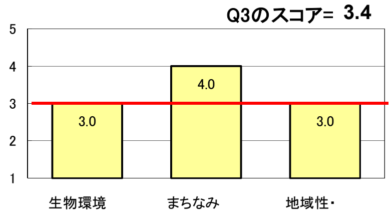
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

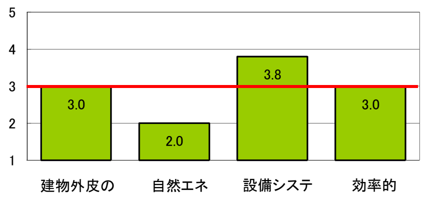


Q3 室外環境（敷地内） Q3のスコア= 3.4

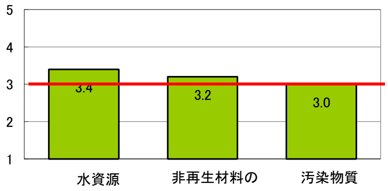


LR 環境負荷低減性 *LR のスコア= 3.2*

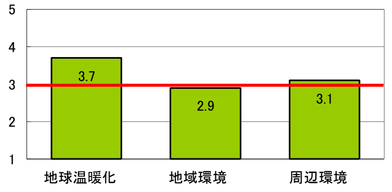
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合

緑地を計画し、周辺の景観にも配慮した計画とした設計としている。また、快適な生活が過ごせるよう室内環境においては遮音性の優れた大きな開口部を設置しており、省水型機器を採用するなど省エネルギーにも配慮した計画である。

その他

特に無し

Q1 室内環境

大きな開口部を設置し日中の昼光を取り込むとともに、遮音性に優れたサッシの採用、F☆☆☆☆の建築材料を全面的に使用し室内環境に配慮

Q2 サービス性能

大容量ブロードバンド設置、住宅性能表示基準の劣化軽減等級3取得により耐用年数の長い建物としている

Q3 室外環境（敷地内）

景観計画区域内で景観への配慮を行なっている。

LR1 エネルギー

BEIm=0.92

LR2 資源・マテリアル

LED照明や省水型機器の採用を実施する事で一次エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計とするとともに、リサイクル材の使用をし非再生性資源の資料量削減に取り組んでいる

LR3 敷地外環境

LCCO2排出量を抑制している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される